

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 006	提案機関名 三浦市農業協同組合
要望問題名 スイカ果実の腐敗症状の対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 三浦市では、大玉スイカは約16万ケース、小玉スイカは8.7万ケースの出荷があり、夏の代表的な生産物となっている。 しかし、令和元年および2年度のスイカの生産は長雨や強風による病害の多発により、収穫できなかつたり果実が腐敗し販売量が減少（大玉約3割減、小玉約2割減）するなど、経営に大きな影響が出ている。 問題は大きく2つに分けられ、つる枯病や炭疽病による病害による収量の減少であり、もう一つは収穫後市場や宅配先での果実腐敗である。両者とも総合的な薬剤防除体系の構築が必要であり、後者は原因も含めた対策の開発をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 三浦半島地区事務所研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) X-1(3) 三浦半島における難防除病害虫に対する総合的病害虫防除管理（IPM）技術の確立 オ スイカの主要病害防除技術の確立	
対応の内容等 令和3年度から上記試験研究課題の中で、防除技術の確立を目的に実施しており、次年度も引き続き実施する予定です。 スイカ果実の収穫後の腐敗症状は、軟腐病菌等の土壌伝染性細菌が果実外皮についた損傷部から侵入することが原因と考えられています。防除には銅剤が有効とされていますが、高温期は薬害を生じる可能性があるため、次年度からは十分な効果が得られる手法について、生育期間中の防除形態と併せて検討する予定です。	
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	